

音楽科学習指導案

日時 令和元年 6月11日(火)
生徒 4年生 男子 名 女子 名 計 名
授業場
授業者

1. 題材名 「せんりつと音色」～ゆかいに歩けば～

2. 題材の目標 A 歌唱 ア イ ウ(1)(2)(3)

曲想と音楽の構造との関わりを生かしながら曲の特徴にふさわしい表現である弾むことや強弱の違いを工夫し、このように歌いたいという自分の思いや意図を言葉・音・音楽で伝えることができるようにする。

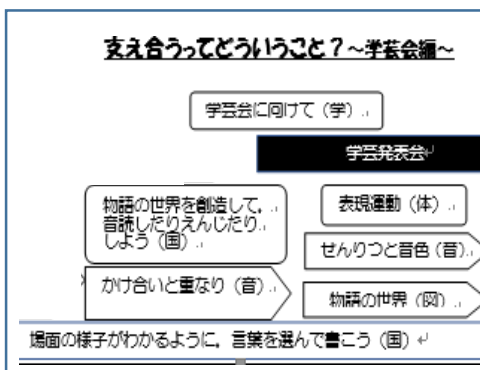
3. 題材観・児童観・指導観

本題材は、曲想や旋律の変化を感じ取ったり、情景を思い浮かべたりしながら、「どのように歌うといいのか」という思いや意図をもって表現することをねらいとしている。

児童は、3年生までに歌詞の意味を考えて歌ったり、曲のイメージに合った歌にしたいという思いをもったりするなど、音楽のよさに触れながら学習を行ってきた。また、友達の歌声や伴奏を聴き、自分の歌声を合わせ、互いに心を合わせて歌う活動に取り組んできた。今回取り組む「ゆかいに歩けば」は、行進曲風の2拍子で、思わず歩き出したくなるような曲である。また、スタッカートをついたリズムカルな旋律が出てくる前半部とのびのびとした躍動感ある後半部が対照的な作品となっている。3年生までの学習活動に加え、歌う喜びを味わい、楽しい歌唱活動を進めることができる題材である。

本時では、曲想と音楽の構造や歌詞との関わりを友達と言葉で伝え合ったり、歌声で表現したりすることを通して感じ取り、「こんな風に歌いたい」「この要素があるから〇〇した方がいいよ」などと、児童自ら曲の特徴に気付き、進んで歌い方の工夫をすることができるような発問をしたり、自分が目指す歌にするためにどのような工夫ができるのかと、多様な考えやよりよい表現をつくることのできるような発問の工夫をし、自らの価値意識が高まるような深い学びにつなげていきたい。

4. 学年・学級経営年間プログラムとのかかわり



音楽科では、「曲想と音楽の構造のつながり」や「歌詞の内容と音楽の構造のつながり」について考え、曲についての思いや自分の立場について共有したり交流したりすることを通して、よりよい歌唱や演奏にし、学芸発表会に生かしていく。仲間と共に活動する中で、自他の違いを感じながら自分なりのよさを発揮する活動を通して、自己の持ち味や役割を自覚し、資質・能力を培う。

5. 題材を通して育むリーダーシップ・フォロワーシップに関わる資質・能力

本題材では、曲想と音楽の構造との関わりに気付き、進んで自分の思いや意図を言葉で伝えたり、協働しつつ音楽に親しんだり語ったりする場面で、「問題解決力」の資質・能力を育むことを目指す。本時では、「お手本の歌に近づくための歌い方のコツを考えよう」という課題から、よりよい表現をつくるためのポイントについて、一人一人が思いを伝えたり、共有したりすることを通して考えていくなど、リーダーシップ・フォロワーシップを発揮し合いながら問題解決を図っていく。

6. 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>ア 「ゆかいに歩けば」や「とんび」の曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。</p> <p>イ 曲想や音楽の構造を生かして歌っている。</p>	<p>ア 音楽を形づくっている要素を聴き取り、よさを感じ取りながら、歌詞や場面、曲想を生かした表現を工夫し、どのように歌うかについて自分の思いや意図をもっている。</p>	<p>ア 「ゆかいに歩けば」や「とんび」を歌う学習に進んで取り組もうとしている。</p> <p>イ スタッカートやクレシェンド・デクレシェンドといった音楽を形づくっている要素に目を向け、自然で無理のない歌い方で歌う学習に進んで取り組もうとしている。</p>

7. 題材計画

時数	○主な学習活動	評価の観点			学び合いの過程 手立て
		知	思	主	
1	<p>○「ゆかいに歩けば」の範唱を聴く。</p> <p>○歌詞唱をする。</p> <p>○曲想を捉えたり、歌詞の言葉から「ゆかいに歩けば」を上手に歌うためのコツを考えたりする。</p>		ア	ア	<p>手立て</p> <p>・「ゆかいに歩けば」を上手に歌うためのコツは何だと思う？</p>
2	<p>○前時で児童から出されたポイント(音楽を形づくっている要素)について理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スタッカート ・ レガート ・ 4分音符, 8分音符のリズム ・ 強弱 <p>○「ゆかいに歩けば」を歌う。【録音する】</p>	ア			<p>手立て</p> <p>(範唱を聴くことをきっかけとして)</p> <p>・「ゆかいに歩けば」を上手に歌うためにはどんな秘密が隠されているのかな？</p>
3 (本時)	<p>○「ゆかいに歩けば」の曲想と音楽を形づくっている要素、曲想と歌詞とを関連させて捉え、お手本の歌に近づくための歌い方について考える。</p>		ア		<p>手立て</p> <p>(お手本に近づくためには)</p> <p>・ どんなことをコツにしたらいいかな？</p>
4	<p>○「ゆかいに歩けば」を上声部と下声部の練習を行う。</p> <p>○2部合唱の歌声をよりよいものにするためのポイントについて考える。</p> <p>○ポイントを生かしながら全員で声を合わせて2部合唱を行う。</p>	イ			<p>手立て</p> <p>(範唱の歌声を聴くことをきっかけとして)</p> <p>・ 2部合唱の歌声をよりよいものにするためのコツは何だと思う？</p>
5	<p>○「とんび」の範唱を聴き、歌詞唱をする。</p> <p>○「とんび」の音楽要素や曲想について確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 強弱 ・ レガート ・ ゆったりとしている 	イ		イ	<p>手立て</p> <p>・「とんび」にはどんな秘密が隠されているのかな？</p>
6	<p>○「ゆかいに歩けば」「とんび」の曲について、それぞれの曲のよさを話し合い、言葉や音楽で表現する。</p>		ア		<p>手立て</p> <p>・それぞれの曲のよさって何だと思う？</p>

8. 本時案

(1) 本時の目標

楽曲の特徴を生かした表現を考え、自分たちの思いや意図をもちながら、言葉や歌で表している。

(2) 本時の展開 (3 / 6)

<p>学習活動 児童・生徒の姿</p> <p>○教師の働きかけ・発問 (△補助発問, □指示・説明) 手立て</p> <p>1 前時で歌った「ゆかいに歩けば」を聴く。</p> <p>○歌声を聴いてみてどう感じたかな？ ・お手本の歌声にまだ近づいていない</p> <p>○お手本の歌に近づくためには？ ・歌い方を考えないといけない</p> <p>2 課題を設定する。 お手本の歌に近づくための歌い方のコツを考えよう</p> <p>3 既習事項を生かした歌い方の工夫について考える。</p> <p>○どんなことをコツにしたらいいな？ 手立て</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・秘密がいろいろあったから、それを生かしながらやるといい ・スタッカートとレガートの歌い方を考えたらいいと思う ・この曲の情景にあった歌い方にしないといけない </div> <p>○どんな秘密 (音楽要素) があったかな？ ○曲想はどうだったかな？</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・スタッカートやレガートがあった ・4分音符や8分音符がある ・スラーやタイがついていたよ </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・「ゆかい」な曲 ・明るい曲 ・はずんでいたり、なめらかな部分があった </div> </div> <p>○歌詞のことばにも注目したよね？</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・「ゆかい」って楽しいという意味だった ・「バルデリ」「バルデラ」はどこか外国の言葉だったり、暗号みたいだなと思った </div> <p>○「ゆかい」にするためにどんなコツ使えそうかな？ 手立て</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 5px; text-align: center;"> <p>・スタッカート ・バルデリバルデラの歌詞</p> </div> <p>○なぜスタッカートが使えそうなの？ ○バルデリバルデラが「ゆかい」な感じになるためにはどう歌う？</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・「ゆかい」は楽しいという意味だから、スタッカートのはずむ感じがあった方がいい ・スタッカートがあると明るくなると思う ・スタッカートだけではなく、レガートの部分もあるよ。違いがある方がより楽しそうな歌になるのでは？ </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・山に向かってさけぶ感じかな ・音が高くなっているから、クレシェンドをつけたらいいのでは？ </div> </div> <p>4 コツを生かしながら「ゆかいに歩けば」を歌う。</p> <p>□ポイントを生かしながら「ゆかいに歩けば」を歌ってみよう。</p> <p>○お手本の歌に近づいた歌い方になったかな？ (録音を聴く)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・スタッカートとレガートの違いがよくわかる歌い方をされていて、「ゆかいに」歌っているように感じた ・お手本の歌に近づけたのではないかな？ </div> <p>5 本時の学習を振り返る。</p> <p>○これから歌の学習をしていく中で大切にしたいことはなにかな？</p> <p>□考えたこと、学んだことを WS に記入しよう。</p>	<p>【評価の観点】</p> <p>◇評価の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導上の留意点 ・歌声を電子オルガンで録音し、自分たちでいつでも振り返ることができるようにする。 ・お手本となる歌は、「音楽のおくりもの」に収録されている『小田原少年少女合唱隊』の歌声としている。 <p>・教科書やWSに工夫できそうなことを一人一人が書き込んだり、全体で共有できるようにする。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>◇【思・判・表】</p> <p>音楽を形づくっている要素を聴き取り、よさを感じ取りながら、歌詞や場面、曲想を生かした表現を工夫し、どのように歌うかについて自分の思いや意図をもっている。(WS, 発言, 歌声)</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・歌声を電子オルガンで録音する。 ・WSに振り返りを記入する
--	--